

～鹿児島県立奄美高等学校「Sweetness High School(グアバアイス)」が大賞～



## 「商業高校フードグランプリ 2016」

### 受賞校を発表

伊藤忠食品株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長執行役員:濱口泰三、以下:当社)は、全国の商業高校生がプロデュースする“食”の商品コンテスト「商業高校フードグランプリ2016」の本選を7月27日(水)・28日(木)の2日間、インテックス大阪にて開催しました。

「商業高校フードグランプリ」は、コンテストを通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の活性化に寄与することを趣旨として2013年度より開催しています。高校生が地域の特産品を使ってメーカーと共同開発した商品を募集し、予選を通過した10校10品が本選に出場しました。会場では接客やステージで商品をPRするプレゼンテーションを行いました。

6名の審査員による審査と来場者の投票の結果、以下のとおり大賞および各賞が決定しました。

#### 【受賞校】

| 賞名             | 学校名・商品名  | 商品画像  |
|----------------|--|---|
| 大賞             | 鹿児島県立奄美高等学校<br>「Sweetness High School(グアバアイス)」<br><br>農園で収穫されず放置されている南国フルーツの「グアバ」の果実を譲り受け、高校生だからこそ伝えられる新鮮な甘酸っぱさ「青春のあまみ」を届けたいとアイスを開発。「Sweetness」は「甘味」と「奄美」をかけて奄美大島のPRにつなげ、奄美大島の魅力が詰まった商品。 |  |
| 宮前真樹<br>審査員特別賞 | 学校法人片山学園 倉敷翠松高等学校<br>「飲むジュレ岡山清水白桃」<br><br>傷つきやすく腐りやすい白桃の廃棄量を減らしたいと、地元の農業高校から相談を受け、果肉をピューレ状にした「ストローで飲むタイプ」のジュレを開発。高級品として知られる岡山清水白桃をたっぷり使用し、冷やして振って飲むことで、白桃の香りも楽しめる。                       |  |

| 賞名                         | 学校名・商品名  | 商品画像   |
|----------------------------|--|--|
| 審査員特別賞                     | <p>岡山県立岡山東商業高等学校<br/>「岡山県産桃太郎トマト焼肉のたれ」</p> <p>岡山県産の桃太郎トマトにこだわり、岡山県産桃太郎トマトを20%配合した焼肉のたれ。生産者の方を応援するために、形が不揃いのトマトなど、まだ美味しく食べられるトマトを使用し、桃太郎トマトの甘みと旨みを最大限に活かした商品。</p> |   |
| 審査員特別賞                     | <p>鹿児島県立串良商業高等学校<br/>「だっき商ドレッシング」</p> <p>鹿児島弁でピーナッツを「だっきしょ」といい、旬の時期には食卓に並ぶ特産品。特産品の「だっきしょ」や地元の調味料などを使用し、隠し味にコーヒーを加え味に奥深さを出す工夫をした。サラダ以外の活用方法についても提案を行った。</p>       |   |
| <p>来場者賞<br/>来場者投票により決定</p> | <p>鹿児島県立奄美高等学校<br/>「Sweetness High School<br/>(グァバアイス)」</p>  |  |

### 【プレゼンテーション・接客】

今年の商業高校フードグランプリでは、「商品の販売戦略」をテーマに、販売を意識した商品の陳列・ブースの装飾、5分間プレゼンテーションに出場校10校が挑戦しました。各校のブースでは、ギフトセットの陳列や商品の多様な使用方法を紹介するなど趣向を凝らし、開発した商品の試食・試飲提供や接客を行い、商品についてアピールしました。ご来場のお客様には、「商品を買いたくなるような陳列・装飾」ができていた高校にご投票いただき得票数を争いました。1日目には商品の1分間PRに挑戦し、ご来場のお客様に商品の魅力を伝え、2日目に行われた5分間のプレゼンテーション審査では、審査員6名を前に商品や地域への想い、商品の販売戦略についてプレゼンテーションしました。



### 【審査員・審査基準】

- ・美食プロデューサー 宮前 真樹 様
- ・株式会社AirSol 片山 裕子 様
- ・大塚食品株式会社 小林 一志 様
- ・キューピー株式会社 岡埜 容明 様
- ・当社 西日本商品部 中村 雅美
- ・当社 西日本営業本部 関 真平

上記審査員により、以下①～⑦の評価項目に準じた審査を行いました。

- ① 「商品の味・食べ方の創意工夫」
- ② 「商品の独創性・新規性」
- ③ 「商品のネーミング・パッケージデザイン」
- ④ 「価格の妥当性」
- ⑤ 「商品の流通性及び発展性」
- ⑥ 「商品開発による地域社会への波及効果及び貢献度」
- ⑦ 「プレゼンテーション(商品の販売戦略)」



## 【表彰式】

鹿児島県立奄美高等学校が初出場で大賞・来場者賞をダブル受賞しました。商品のネーミング・デザインに優れ、島内で放置され廃棄されているグアバに着目した点や「青春のあまみ」を届けたいという商品コンセプト、商品開発への取り組み姿勢が評価され大賞を受賞しました。

元アイドルグループCoCoのメンバーで現在は美食プロデューサーとしてご活躍の宮前真樹氏が選ぶ、宮前真樹審査員特別賞には、学校法人片山学園倉敷翠松高等学校「飲むジュレ岡山清水白桃」が受賞しました。収穫時期が短く、傷つきやすいため廃棄されている岡山清水白桃の美味しさに宮前氏も驚き、桃の収穫から商品開発に取り組んだ生徒を称えました。

審査員特別賞は、商品の汎用性が高く、ギフト提案や商品導入提案など、商品の積極的なPR活動が評価された岡山県立岡山東商業高等学校「岡山県産桃太郎トマト焼肉のたれ」。そして、ドレッシングの隠し味にコーヒーを用いるという斬新さが好評を得た鹿児島県立串良商業高等学校「だっき商ドレッシング」が受賞しました。

また、惜しくも賞を逃してしまった出場校には、その努力を称え伊藤忠食品社長賞が贈られました。



## 【伊藤忠食品の商業高校への教育支援の取り組みについて】



2013年度より商業高校(商業科を有する高校)では、新学習指導要領のひとつに「商品開発」が導入されました。当科目は、商品の開発だけでなく流通に必要な知識や技術を体験的に習得することが求められています。食品の中間流通業を営む当社は、本業を活かしたCSR(企業の社会的責任)の一環として、人材育成の観点から、商業高校の教育支援を行っています。

「商業高校フードグランプリ」は、出品を通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の活性化に寄与することを趣旨として2013年度より開催しています。

当社は、未来を担う高校生への教育を継続的に支援するとともに、地域活性化に繋がる商品の販売を推進してまいります。この取り組みは、「CSR(企業の社会的責任)」にとどまらず、「人材の育成」「地域活性化」という社会と共有できる価値を創造しながら、商業高校が開発した商品を本業の卸売と結び付ける「CSV(共有価値の創造)」への発展を目指しております。今後も、社会に必要とされる存在意義のある企業を目指して取り組んでまいります。

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

TEL : 03-5411-8512

mail : [y-fukuman@itochu-shokuhin.co.jp](mailto:y-fukuman@itochu-shokuhin.co.jp)

担当 : 伊藤忠食品株式会社 経営企画本部 経営企画部  
IR広報・CSRチーム 福万 由希子